

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年 3月21日（金）

2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアU（図1）

3 確認項目

瓦礫類一時保管エリアUの現況

4 確認結果の概要

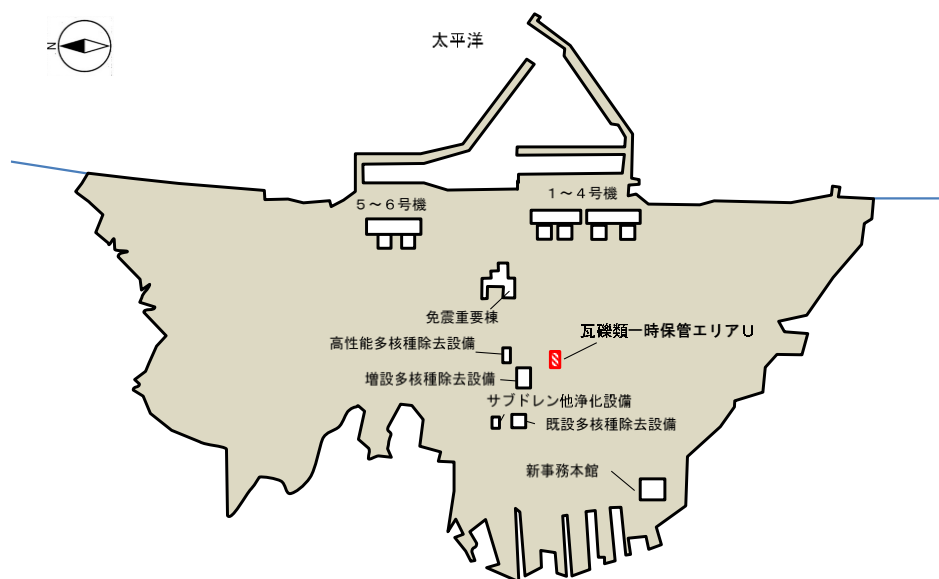
東京電力では、屋外で一時保管されている瓦礫類等の固体廃棄物を屋内保管へ移行し、屋外一時保管エリアの解消を中長期ロードマップの目標工程※として定めている。

本日は、瓦礫類一時保管エリアU（以下「エリアU」という。）における瓦礫類の保管及び管理状況について確認した。（前回確認日：平成29年1月17日）

- ・エリアUには、約700m³（2025.2.27時点）の瓦礫類が保管されている。瓦礫類は様々な形状で保管されており、そのままの状態やシート掛けされたもの、または10ftコンテナでそれぞれ保管されていた。（写真1）
- ・エリアUの空間線量率が掲示されており、計測値は0.001 mSv/h（2024.3.19）。（写真2）
- ・一部のシートには、経年劣化が認められたが、瓦礫類の飛散・流出は見られなかった。（写真3）

※中長期ロードマップの目標工程

中長期ロードマップドマップ（2019年12月27日改訂）」において、「2028年度（令和10年度）までに、水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除くすべての固体廃棄物（伐採木、ガレキ類、汚染土、使用済保護衣等）の屋外保管を解消し、作業員の被ばく等のリスク低減を図る。」ことを目標工程としている。



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 ①) エリアU東側の状況



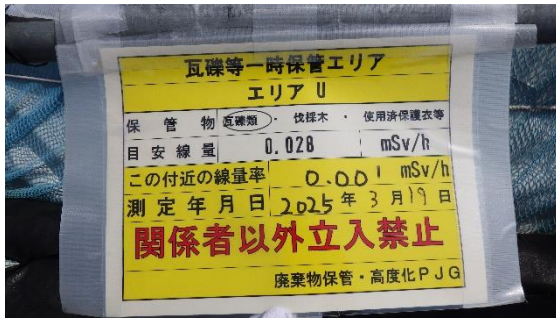
(写真 1 ②) エリアU東側の状況



(写真 1 ③) エリアU西側の状況



(写真 1 ④) エリアU西側の状況



(写真2) 空間線量率の標示



(写真3) シートの劣化状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。